

株式会社フコク 個人投資家様向け会社説明会 質疑応答要旨

2月に開催されました個人投資家様向け会社説明会におきまして、多数の方々にご視聴頂きまして誠にありがとうございました。

今般 主催者である SMBC 日興証券様から当日お寄せ頂きました質問のうちご回答出来なかった内容を頂戴しましたので、ホームページに掲載させて頂きます。掲載まで時間を要しましたことお詫び申し上げます。

今後共、ご視聴頂きました皆様また株主様・投資家様からのご指導を賜りつつ、皆様からのご期待にお応え出来るよう、経営改善を更に進めてまいります所存です。

Q. 売上比率について

SQ1. 海外売上高比率について

- ・ 近年増加傾向で、今では 50%を超えるレベルとなっている。

SQ2. エンジン関係の売上比率について

- ・ エンジン関係の売上比率は現状 25%程度だが、EV 化の進展等で今後減少していくことが想定される。
- ・ しかしながら、自動車関連分野では EV 化によって新たに需要が見込まれる部品等を積極的に開発していくと共に、非自動車分野であるバイオ関連やマイクロ tas などのライフサイエンス事業については、当社の新たなもう一つの大きな柱するべく、全社を挙げて取組んでいる。

Q. 競合について (競合名・社数・国内外での違い等)

- ・ 国内売上比率が高かった時代においては日系の大手ゴム部品メーカーが主な競合先であったが、昨今では海外売上比率が高まり、日本以外にも欧米系や中国系のゴムメーカーとの競合も意識していく必要があると考えている。
- ・ また、EV 関連や非自動車分野の売上比率が今後高まっていくことを考慮すると、これまでの競合先以外の幅広いメーカーも競合となるものと考えている。

Q. 半導体不足に伴う当社業績への影響について

- ・ 当社は半導体を扱う製品・事業は無いため直接的な影響はないが、半導体不足に伴うカーメーカー等の生産減少により影響を受けている。

Q. スバル社との取引実績について

- ・ 防振セグメントのダンパー製品を中心に取引有。

Q. 株主優待について (優待復活の可能性等)

- ・ 連結配当性向 30%を目安とした配当額を増やすことで、株主優待制度を実施していた頃よりも個々の株主様に厚く広く利益還元していく事が出来るものと考えている。今後もこうした観点から、株主優待ではなく、配当による利益還元に注力していきたいと考えている。

Q. 配当利回りについて

- ・ 5%程度の実績となっている。

Q. 社名である「フコク」の由来について

- ・ 創業者の河本栄一が 1953 年の会社設立時に、戦後の荒廃から日本が豊かで富んだ国になるための貢献をしたいという思いでフコクの前進である「富国ゴム工業株式会社」を設立した。現在の「株式会社フコク」は 1986 年 1 月に商号変更を行ったが、創業者の豊かで富んだ国への思いを踏襲している。

以上